

武漢事務所便り週間新聞記事報告 2010.8.28 - 2010.9.321 号

2010年8月28日付け「長江ネット」により

湖北省が公営福祉施設を100ヶ所新規増加予定

7割の「三無」高齢者の集中的な養老が可能に

8月28日、湖北省民政庁からの情報によると、湖北省が既に100ヶ所の公営福祉施設の新規建設許可を得て、年内に全て着工する予定である。新規増加の施設は都市部と農村部の「三無(労働力無し、収入無し、介護者或いは養護者無し)」の高齢者に対して、養老施設を提供する。

この100ヶ所公営福祉施設は83ヶ所の公営都市社会福祉養老施設と17ヶ所の市、州立児童福祉施設を含む。湖北省民政庁の要請により、未着手の工事は10月末まで着工し、既に着工した工事は年内にメイン工事を終了し、来年の上半期に使用可能となる。

これらの新福祉施設の竣工後、湖北省は分散居住している「三無」の高齢者を対象とし、集中的養老率が65%に達するよう力を入れる。

2010年8月29日付け「長江ネット」により

上海万博の入場料はようやく安くなり始めた

夏休み期間中、高価だった上海万博入場料はようやく安くなり始めた。28日に得た武漢市の一部の旅行会社からの情報によると、夏休みの終わりが迫ってきたため、学生や家族などの団体客が減り、上海のホテルの空室も増えた。そのため、上海万博の入場料は夏休み期間中より100元余り下がった。

武漢の中国国際旅行会社の関係者の話によると、万博コースの価格は28日より安くなり、新学期開始の影響を受け、学生や家族の旅行数が激減し、上海市のビジネスホテルの空室が増加、その影響で価格も同時に安くなった。元々の1600元と1800元の2種類の新幹線の万博コースが120元と180元までに下がった。

以前、高かった上海の入出境の航空券も安くなったので、万博コースの価格も1割か2割ぐらいに下がった。例えば、8月末～9月初めに武漢 上海万博の団体料金は5日間2500円で、個人旅行は1300元である。

旅行会社の情報によると、中秋、国慶節が近づいているため、旅行価格は9月下旬に再度上がる見込みである。9月のピークを避けるなら、今急いで申込みのがよい。気温は夏休みより下がるので、9月中旬、中高年による万博旅行の人数はピークを迎えることが予想され、早めの申込が必要である。